

J F M A 情報

Japan Futon Manufacturers Association

日本ふとん製造協同組合
一般財団法人日本ふとん協会

JFMA アドレス <http://www.futon.or.jp/>

平成 28 年 1 月 1 日 No.128



紙面ガイド

年頭所感	1~2
米山理事長「品質重視の商品提供を」	
奥中部会長「外国人技能実習制度の活用を」	
浅黄委員長「価格競争からの脱皮を」	
家庭用品品質表示法が改正	3
羽毛原料相場の現況と今後について ..	4
統計資料（繊維）	6
統計資料（貿易）	7~8

品質重視の商品提供を

日本ふとん製造協同組合 理事長 米山 元章

新明けましておめでとうございます。

昨年の大企業は、円安、株価の上昇の恩恵を受けて「日本経済は緩やかな上昇」という表現でしたが、日本の一般経済は上昇という表現はなかなか当てはまらない状況でした。

海外製造商品が、円安等の要因から国内生産にシフトし始めている感はありますが、原材料の上昇分が商品単価に反映されず、製造コストを圧迫しているのではないのでしょうか。

ここ数十年間は円高によるデフレ・スパイラル等の影響で多くの仲間企業が無くなりました。海外生産分が国内生産に戻ってきても、今や国内の生産キャパは満杯の状況です。

我々製造業は、生産数量は決まっており、無理をすれば無理をするだけ経費がかかりコストアップの状態になり利益を圧迫します。

消費者の方々には、健康、安全、安心のキーワードから商品を探しています。市場で余りにも低価格の商品

は、消費者に迷いを生じさせ、ふとん業界全体に不信感を持たれてしまいます。各企業は適正な製造コストを見直し、使って頂く人たちが満足いただける品質の商品を提供しなければなりません。

全日本寝具寝装品協会（JBA）は、昨年4月より「一般社団法人日本寝具寝装品協会」としてスタートしました。これは、法人化することにより国の政策と同調し、各省庁、他業種の組合と協力をして、研究、開発をし、業界の人々のお役に立てるようにするためです。

当組合の「外国人技能実習生受入れ事業」は、これまで受入れを行ってきた中国からの応募者が減少しているため、昨年はフィリピンから新たに受入れを開始しました。本年は、さらにカンボジアからの受入れを開始するため準備中です。業界内の唯一の受入れ監理組合として、法を順守し、適正な受入れ組合として取り組んで参ります。

本年も組合活動にご理解ご協力をお願いします。

外国人技能実習制度の活用を

J FMA国際交流部会長 奥中 敏之

新春を迎え謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

J FMA国際交流部会の「外国人技能実習生受入れ事業」は、今年で14年目を迎えることになりました。この13年間の研修生・技能実習生の受入れは、延べで557名となりました。これも偏に、受入れ組合員の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

昨年は、中国からの技能実習生25名を受入れるとともに、初めてフィリピンから12名を受入れ、合計で37名を受入れることが出来ました。平成27年12月10日現在の受入れ状況は16社に91名となっております。

近年は円安の影響等もあり、これまでの中国のみの受入れから昨年はフィリピンから受入れましたが、今後は更にカンボジアからの受入れも予定しております。

今年は、第14次技能実習生受入れのため1月10日から15日の予定で中国、1月21日から24日の予定でカンボジア、4月にフィリピンを訪問し、面接を予定しております。

外国人技能実習制度については、「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律案」が1月の通常国会で審議される予定で、監理団体の許可制の導入など大きく制度の見直しが行われることになっております。

当組合では送り出し国との関係をより密にし、外国人技能実習制度に基づく適正な受入れを今後も進めていく所存です。組合員の皆様も外国人技能実習生の受入れを活用し、安定した戦力としてお役立ていただければと考えております。

組合員各位の更なる飛躍の年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

価格競争からの脱皮を

J FMA経営情報委員会 委員長 浅黄 敬之

新年あけましておめでとうございます

旧年中は組合情報誌「J FMA情報」をお読みいただき誠にありがとうございました。本年度も引き続き「J FMA情報」が組合員の皆様に少しでも有益な情報を提供できるように活動してまいりたいと思います。また、情報誌に関しまして、皆様のご意見やご感想をお聞かせいただければ幸いです。よろしくお祈り申し上げます。

さて、昨年度を顧みますと国内総生産GDPは4～6月、7～9月とも▲0.2%と2四半期連続でマイナスとなりました。専門家の見解では国内だけでなく世界的な基準で景気後退期に入ったとの見方が多いようです。労働者の実質賃金はいくぶん増加したものの、円安に伴う食品の値上げや消費税増税を受け家計の節約志向が定着したようです。個人消費が活性化するにはまだまだ時間がかかりそうで

す。

こうした中、政府はオリンピック・イヤーの2020年までにGDP600兆円を目標に掲げ緊急対策を検討しているものの具体的な施策が見えてこないのが現状です。

このような経済環境で2016年を迎え、組合企業の皆様にとりましても景気動向を先読みしながら経営の舵取をしなければなりません。円安と増税が物価上昇の主要因ですが、こと寝具においてはまだまだ適正価格になったという実感はありません。依然として安さを競う価格競争があるようです。一刻も早く業界全体がコスト上昇した分、適正な利益を得ることができる販売価格に設定すべきです。組合企業様におかれましては2016年度が更なる飛躍の年になりますよう、心よりお祈りいたしております。

家庭用品品質表示法「繊維製品品質表示規程」が改正

－取扱い絵表示が改正され、平成28年12月1日から施行－

平成28年3月31日、家庭用品品質表示法「繊維製品品質表示規程」の改正について告示され、現在のJIS L 0217に基づく洗い方や塩素漂白の可否、アイロンの掛け方等の取扱い絵表示は、新たにJIS L 0001に基づく表示が義務付けられることになりました。法律の施行日は、平成28年12月1日からとなります。

寝具関係の表示方法等について、JBAで2月に説明会を開催する予定です。

[新しい表示 (JIS L 0001) について]

世界標準	世界共通のISOに準じた表示になります。 ISOを取り入れことにより、日本製品の国際競争力を強化する目的があります。	
上限表示	機械力や処理温度等、取扱いの上限を踏まえた表示になります (指示表示から上限表示へ)。なお、表示を全て省略してもよく、その場合はあらゆる処理ができるものと解釈されます。	
表示記号の倍増	表示記号は、従来の6分類22種類から5分類41種類に倍増します。	
	(現行) 1. 洗い方 (水洗い) の記号 2. 塩素漂白の可否の記号 3. 絞り方の記号 (廃止) 4. 干し方の記号 5. アイロンの掛け方の記号 6. ドライクリーニングの記号	(新規格) 1. 洗濯処理の記号 2. 漂白処理の記号 3. 乾燥処理の記号 (新設) 4. アイロン仕上げ処理の記号 5. 商業クリーニング処理の記号 (ウェットクリーニング処理の記号) (新設)
記号の追加・削除		

平成27年度「フィリピン技能実習生」11月に入国

当組合 (JFMA) の外国人技能実習生受入れ事業は、本年度で13年になりました。今年は第13次技能実習生として、6月に中国から25名、11月にフィリピンから初めて12名を受入れ、合計で37名の技能実習生を受入れることができました。

それぞれ入国後1ヶ月間、日本語を中心に入管法や関係労働法に関する法的保護に関する講習会を奈良県高取町の大和国際日本語学院と栃木県小山市の「きぼう国際外語学院」で実施し、講習会終了後に組合員各社に配属されました。

当組合の13年間の研修生・技能実習生の受入れ実績は、延べで557名となりました。平成27年12月10日現在の受入れ状況は、東北・関東地区が10社で46名、中部・近畿地区が4社で22名、四国・九州地区が2社で23名、合計16社で91名の技能実習生が在籍しています。



フィリピン・セブ市の面接風景

羽毛原料相場の現況と今後について

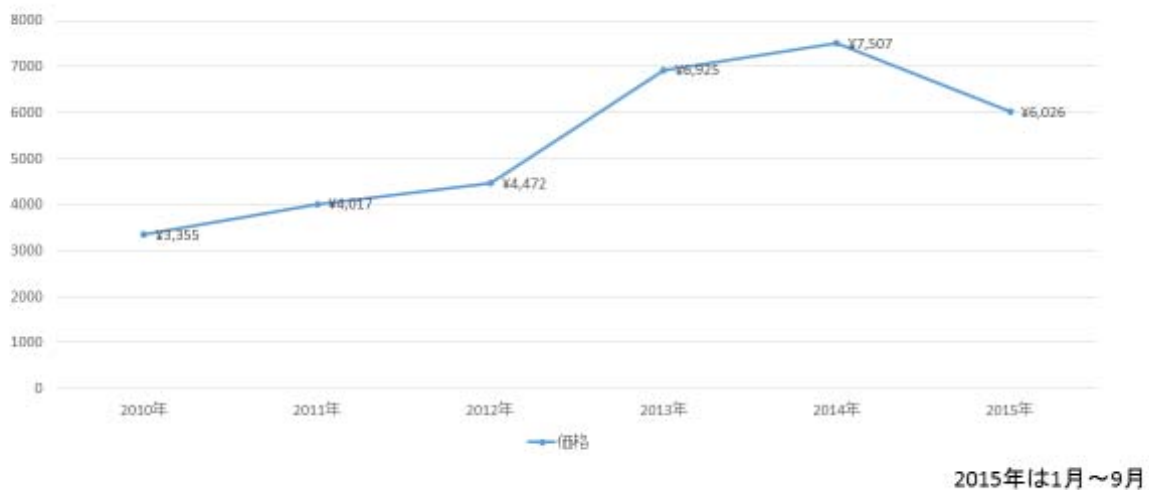
メルクロス㈱リビングユニット マネージャー 川崎 修

新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

寝具業界を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあります。特に「羽毛製品」は原料相場の暴落により、

小売価格もそれに伴い下落致しました。各社とも2014年度の販売不振により原料在庫は増加し2015年度は在庫調整が行われ輸入量は激減しております。2015年シーズンは高値原料使用により利益は圧迫され、原料高、製品安となりました。

過去5年間の羽毛原料平均単価(1kg)の推移



財務省の貿易統計によれば羽毛原料は、2009年に1キロ当たりの輸入価格が2750円、2010年に3355円、2011年に4017円、2012年に4472円とゆるやかに上昇していました。しかし、2013年年初に発生した中国での「鳥インフルエンザ」の影響から6925円に急騰しました。

2014年の価格はさらに高騰し、1キロ当たり7507円と高止まりで推移しました。その後は徐々に値下がりし今年3月には4983円と、急激に値上がりする以前の2013年1月時点と同水準にまで値下がりしました。

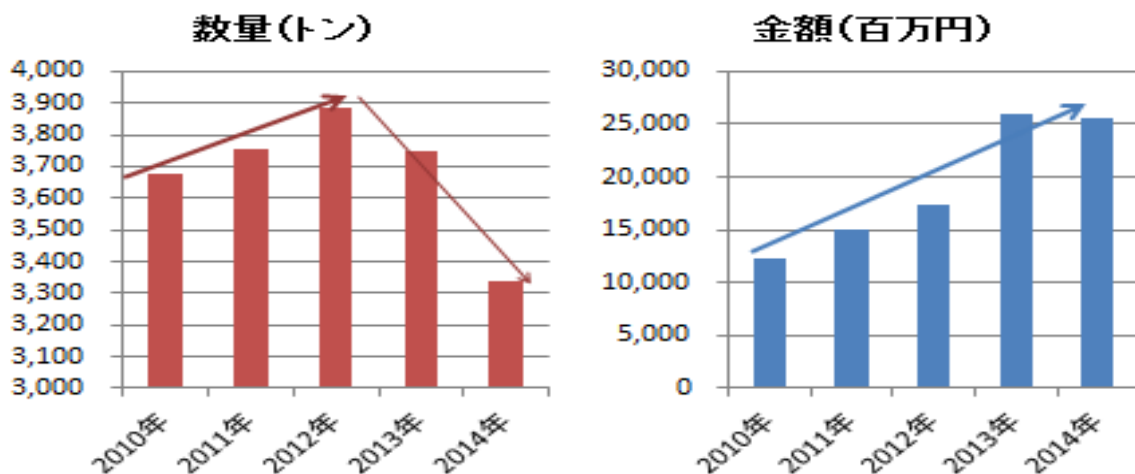
この値下がりの背景には需要の減少があります。2014年の羽毛原料の輸入量は前年比11%減の3337トンとなりました。2015年1月から9月もさらに減少し前年比25%減の1869トンで推移しております。今後の輸入量が伸びることは考えづらく年間の輸入量は3000トンを割り込むことが予想されます。

国内羽毛ふとんメーカーにおいては、2014年秋冬の羽毛ふとんの販売不振により、高値時に手当てした羽毛原料の在庫を抱えていました。在庫調整のため、2015年秋冬に手当てする羽毛原料を抑える傾向が見られ輸入量は激減しております。

2016 年は日本国内においては各メーカーとも 2014 年時の高値の羽毛原料はほぼ消化され、原料価格の安値安定から使用量は 2015 年と比較して増加

すると思われます。また 2020 年東京オリンピック開催も決定しており業務用（ホテル用）の羽毛布団の需要は高まると思われます。

過去5年間の羽毛原料の輸入量と輸入額



2015年輸入量は3000tを割り込むか？ 輸入額は単価アップで上昇しているが2015年は単価ダウン、数量減で輸入額は今後減少傾向となる。

今後の相場については中国の経済情勢が大きく影響しています。中国での羽毛製品の需要が活発になれば相場は上向くと思われますが現在の状況を見ると 2013 年時の「鳥インフルエンザ」のような非

常にインパクトのある要因がない限り価格が上がることは予想しづらいように思います。

2016 年が JFMA 会員の皆様、寝装業界にとって素晴らしい年になる様にお祈りいたします。

統 計 資 料

繊維統計

2015年1～9月のふとん生産量
250万枚、8.2%減少

2015年1～9月の製綿生産量
4,173トン、6.3%減少

ふとん生産量の推移 (単位：千枚、%)

年 別	掛 け	敷 き	こたつ	羽 毛	合 計
06年	1,936 99.7	2,845 102.9	512 69.6	1,963 92.7	7,256 96.0
07年	1,529 79.0	2,341 82.3	279 54.5	1,735 88.4	5,884 81.1
08年	960 62.8	1,811 77.4	281 100.7	1,722 99.3	4,775 81.2
09年	973 101.4	1,762 97.3	259 92.2	1,758 102.1	4,753 99.5
10年	978 100.5	1,710 97.0	237 91.5	1,659 94.4	4,583 96.4
11年	893 91.6	1,744 102.3	201 79.4	1,561 93.9	4,399 96.1
12年	813 91.0	1,661 95.2	161 80.1	1,382 88.5	4,017 91.3
13年	759 93.4	1,482 89.2	138 85.7	1,328 96.1	3,706 92.3
14年	791 104.2	1,598 107.8	160 115.9	1,296 97.6	3,844 103.7
15年 1～9月	532 93.0	1,123 94.2	82 78.8	759 89.2	2,496 91.8
15年 1～3月	192 95.5	387 91.5	3 60.0	293 89.3	875 91.3
15年 4～6月	170 86.7	357 92.2	15 71.4	203 90.2	745 89.9
15年 7～9月	171 97.7	379 99.2	64 82.1	262 87.9	876 93.9

上段は数量、下段は前年比 (経済産業省・繊維統計)

製綿生産量の推移 (単位：トン、%)

年別	合成繊維	その他(羊毛含)	合 計
06年	9,302(105.4)	4,199(100.6)	13,502(103.9)
07年	9,224(99.2)	4,175(99.4)	12,781(94.7)
08年	9,830(106.6)	2,602(73.2)	12,432(97.3)
09年	8,568(87.2)	2,288(87.3)	10,856(87.3)
10年	9,092(106.1)	2,179(95.2)	11,271(103.8)
11年	9,050(99.7)	2,096(96.3)	11,145(99.1)
12年	7,998(88.4)	1,908(91.0)	9,906(88.9)
13年	5,036(63.0)	1,733(90.8)	6,769(68.3)
14年	4,414(87.6)	1,613(93.1)	6,027(89.0)
15年 1～9月	3,111(95.1)	1,063(89.9)	4,173(93.7)

(経済産業省・繊維統計)

2015年1～10月の支出金額2.4%減少

ふとんへの一世帯当たりの支出額

(単位：円、枚、%)

年別	支出金額	購入数量	平均単価
08年	3,682(105.1)	0.262(97.8)	14,076(107.9)
09年	2,807(76.2)	0.270(103.1)	10,397(73.9)
10年	2,913(103.8)	0.278(103.0)	10,484(100.8)
11年	2,912(100.0)	0.262(94.2)	10,851(105.9)
12年	3,383(116.2)	0.265(101.1)	12,762(117.6)
13年	2,747(81.2)	0.259(97.7)	10,606(83.1)
14年	3,369(122.6)	0.257(99.2)	13,105(123.4)
15年 1～10	2,359(97.6)	0.215(104.9)	11,296(94.1)

(総務省、家計調査)

貿易統計

2015年1～10月「合織ふとん」輸入枚数 1,145万枚、2.7%減少

合織ふとんの輸入実績

(単位：千枚、百万円、%)

年	国	中国	ベトナム	タイ	その他	合計
2009年	数量	10,666(107.8)	43(226.3)	1(632.4)	32(59.3)	10,742(107.7)
	金額	13,820(92.7)	41(17.7)	24(500.5)	270(97.5)	14,155(91.8)
2010年	数量	10,472(98.2)	150(346.4)	1(83.1)	26(81.3)	10,649(99.1)
	金額	12,741(92.2)	213(517.3)	20(81.4)	191(70.7)	13,165(93.0)
2011年	数量	12,500(119.4)	426(283.8)	4(553.6)	23(88.5)	12,953(121.7)
	金額	17,326(135.9)	705(330.6)	86(441.0)	171(89.5)	18,288(138.9)
2012年	数量	12,461(99.7)	547(128.3)	4(91.7)	13(56.5)	13,025(100.6)
	金額	17,897(103.3)	1,139(161.6)	145(168.5)	48(28.1)	19,229(105.9)
2013年	数量	13,198(105.9)	603(110.2)	4(105.9)	8(61.5)	13,813(106.0)
	金額	21,844(122.0)	1,655(145.2)	167(115.0)	29(134.7)	23,695(123.2)
2014年	数量	13,873(105.1)	608(100.8)	4(99.9)	12(150.0)	14,497(111.9)
	金額	24,781(113.4)	1,984(119.9)	139(83.3)	32(110.3)	26,936(147.3)
2015年 1-10月	数量	10,777(95.7)	665(135.6)	2(69.3)	7(68.7)	11,452(97.3)
	金額	21,075(106.2)	2,169(139.0)	102(80.6)	29(105.9)	23,375(108.4)

2015年1～10月「その他ふとん」輸入枚数 107万枚、19.9%減少

その他のふとんの輸入実績

(単位：千枚、百万円、%)

年	国	中国	ベトナム	インド	その他	合計
2009年	数量	1,416(82.0)	—	1(106.7)	32(133.3)	1,449(82.8)
	金額	2,704(74.7)	—	1(155.4)	270(138.5)	2,975(77.9)
2010年	数量	1,295(91.5)	8(—)	0(85.7)	13(40.6)	1,316(91.0)
	金額	2,542(94.0)	15(—)	1(129.0)	95(35.2)	2,653(77.9)
2011年	数量	1,313(101.4)	—	0(108.2)	37(284.6)	1,350(102.6)
	金額	2,809(110.5)	—	1(92.7)	250(263.2)	3,060(115.3)
2012年	数量	1,368(104.2)	0(—)	2(317.5)	37(100.0)	1,407(104.2)
	金額	3,111(110.8)	7(—)	5(441.0)	240(96.0)	3,363(109.9)
2013年	数量	1,582(115.6)	13(5469.3)	3(179.1)	9(24.3)	1,607(114.2)
	金額	4,496(144.6)	23(342.7)	4(89.4)	79(32.9)	4,602(136.9)
2014年	数量	1,584(120.6)	8(64.6)	7(266.8)	19(211.1)	1,618(119.9)
	金額	4,497(160.1)	15(66.3)	10(231.5)	153(193.7)	4,675(152.8)
2015年 1～10月	数量	1,042(79.9)	18(214.7)	7(100.3)	2(14.6)	1,069(80.1)
	金額	3,360(91.8)	32(209.3)	12(127.2)	30(23.1)	3,434(90.1)

2015年1～10月「羽毛ふとん」輸入枚数 154万枚、2.4%減少

羽毛ふとんの輸入推移

(単位：千枚、百万円、%)

年	国	中国	ドイツ	ベトナム	その他	合計
2009年	数量	3,340(113.3)	14(100.0)	510(228.7)	7(116.7)	3,871(121.3)
	金額	8,906(87.9)	377(85.9)	1,198(171.6)	57(54.8)	10,538(92.8)
2010年	数量	3,417(102.3)	16(110.2)	683(134.0)	3(42.9)	4,119(106.4)
	金額	8,992(101.0)	477(126.6)	1,784(148.9)	59(103.5)	11,312(107.3)
2011年	数量	3,218(94.2)	13(82.2)	454(66.5)	10(320.0)	3,695(89.7)
	金額	8,967(99.7)	410(86.1)	1,535(86.1)	74(125.1)	10,987(97.1)
2012年	数量	3,046(94.7)	13(99.3)	358(78.8)	6(60.0)	3,423(92.6)
	金額	9,442(105.3)	430(104.9)	1,486(96.8)	83(112.2)	11,441(104.1)
2013年	数量	3,218(94.2)	13(82.2)	454(66.5)	10(320.0)	3,695(89.7)
	金額	8,967(99.7)	410(86.1)	1,535(86.1)	74(125.1)	10,987(97.1)
2014年	数量	1,584(49.2)	10(76.9)	263(57.9)	3(30.0)	1,860(50.3)
	金額	7,184(80.1)	500(122.0)	1,577(102.7)	125(168.9)	9,386(85.4)
2015年 1～10月	数量	1,347(100.0)	8(84.6)	178(81.2)	6(295.3)	1,539(97.6)
	金額	5,562(95.4)	319(70.9)	1,043(82.7)	127(124.5)	7,051(92.3)

2015年1～10月「羽毛原料」輸入数量2,273トン、20.8%減少

羽毛原料の輸入推移

(単位：トン、百万円、%)

年	国	中国	台湾	ハンガリー	その他	合計
2009年	数量	1,581(125.8)	1,527(89.7)	210(107.7)	699(115.0)	4,017(97.5)
	金額	3,918(57.2)	3,449(46.9)	1,351(99.9)	2,328(88.3)	11,046(60.7)
2010年	数量	1,496(94.6)	1,333(87.3)	200(95.2)	692(99.0)	3,679(91.6)
	金額	4,490(114.6)	4,178(121.3)	1,242(92.0)	2,649(113.8)	12,343(111.7)
2011年	数量	1,496(100.0)	1,302(97.6)	185(92.4)	775(119.2)	3,758(102.1)
	金額	5,951(132.5)	4,677(111.9)	1,099(88.5)	3,371(138.6)	15,099(122.3)
2012年	数量	1,719(114.9)	1,124(86.3)	208(112.6)	838(108.1)	3,889(103.5)
	金額	7,433(124.9)	4,638(99.2)	1,404(127.7)	3,914(116.1)	17,389(115.2)
2013年	数量	1,573(91.5)	1,058(94.1)	153(73.6)	967(115.4)	3,751(96.5)
	金額	10,974(147.6)	6,443(138.9)	1,782(126.9)	6,778(173.2)	25,977(149.4)
2014年	数量	1,653(105.1)	797(75.3)	126(82.4)	761(78.7)	3,337(88.9)
	金額	10,722(97.7)	6,060(94.1)	1,564(87.8)	6,745(99.5)	25,091(96.6)
2015年 1～10月	数量	1,073(76.3)	670(99.1)	59(52.6)	471(69.7)	2,273(79.2)
	金額	5,197(55.3)	3,919(77.7)	607(44.0)	3,842(65.1)	13,555(62.4)

◎組合事務局の年末年始休暇 12月29日(火)～1月4日(月)

[JFMA情報は再生紙を使用しています。]